

平成28年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」

のサルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成28年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」 のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成29年 2月20日 (月) 14時00分～15時04分
3 開催場所	富津市役所 5階 503会議室
4 審議等事項	(1) 平成28年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 平成29年度事業(案)及び予算(案)について
5 出席者名	(委員) 小泉 義行、石井 清孝、成川 正憲、茂木 雅宏、 小林 琢也、嶋野 利郎、森 孝夫、伊田 重美、 橋本 信一、池田 文隆 (千葉県) 水野 大樹、菊地 里佳 事務局 (調査団)直井 洋司、白鳥 大祐 (富津市)能城 雅幸、山口 芳郎、桐村 修司、知念 孝男 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人 (定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
<p>(富津市) 山口 生涯学習課長</p> <p>小泉 委員長</p>	<p>定刻となりましたので、平成28年度 第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者10名、です。過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、小泉富津市副市長から挨拶を申し上げます</p> <p>委員の皆様におかれましては、公私共に御多忙の中、御臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>また、日頃当地域の文化財行政に御理解と御協力を頂きまして深く感謝申し上げます</p> <p>この1月から富津市副市長となりました小泉と申します。</p> <p>本被害防止管理委員会設置要綱により委員長を務めさせていただきます。よろしく願い申し上げます。</p> <p>昭和62年に設置されました当委員会でございますが、サルによる作物への被害はいまだ多く、その役割は現在でも重要なものであると認識をしております。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から水野様、千葉県環境生活部自然保護課から菊地様にお越しいただいております。</p> <p>今後の方針等についてお話をさせていただけると思います。</p> <p>さて、本日の議題は 平成28年度事業の途中経過報告及び予算執行状況 平成29年度事業（案）及び予算（案） についてでございます。</p> <p>様々な立場からの御意見、御提案等活発な審議をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。</p>
<p>(富津市) 山口 生涯学習課長</p>	<p>続きまして、桐村文化係長の方から、お手元に配布した資料の確認をお願いいたします。</p>

<p>(富津市) 桐村 文化係長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員等名簿 3 席次表 4 平成28年度事業の進捗状況 (『天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)』) 5 平成28年度予算執行状況 6 平成29年度事業計画書(案) 7 平成29年度事業予算案(案) 8 平成29年度文化財関係国庫補助事業計画の見直しについて <p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。 ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p>
<p>(富津市) 山口 生涯学習課長</p>	<p>会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。 このため、後ほど会議録署名人2名を決めて頂きたいと思えます。 また、会議録作成のために録音させていただきますので、御了承のほどお願いいたします。</p> <p>では、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いします。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>それでは、議題に入る前に署名委員を2名決めたいと思えます。こちらからの指名でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>森委員と小林委員にお願いしたいと思えますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>では、議題に入ります。議題(1)平成28年度事業の経過報告及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p>

(君津市) 當眞
副主幹 (事)
文化振興係長

事業の経過報告について説明させていただきます。

資料『平成28年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業途中経過報告書』に沿って説明

1. 被害防止について (資料: 1 ページから 4 ページ)

(1) 電気柵による被害防止

当事業で設置した既設電気柵の維持管理、改修、移設を実施しております。

①維持管理

既存電気柵の維持管理については、月1回以上の点検や補修を行いました。宇藤原地区では、調査補助員の体調不良があり、一部点検を実施できない期間が夏季にありました。

宇藤原地区を囲う周回電気柵につきましては、年に3回程度の草刈りを実施しました。

②改修

電気柵の改修については富津市高溝地区を150m程度、君津市平田地区を80m程度実施する予定でございます。

③移設

資料1ページ図1-1のとおり、富津市宇藤原地区のU26の電気柵を対象に実施しました。

地元住民の方より、旧U26内側の耕作地については耕作する予定がなく、近隣の耕作地、図内のU26の場所に電気柵を作って欲しいという希望があったため移設をしました。

旧U26の電気柵については、平成22年度に改修しており材料の痛みが少なかったため、撤去した材料を再利用し、100m分の移設を行いました。

(2)被害多発期の追い払いによる被害防止

8月8日から8月31日までの24日間、延べ27人で実施しました。

(3)被害実態調査

今年度の3月に実施する予定でございます。

2. 生態調査と個体数管理 (資料: 5 ページから 10 ページ)

(1) 生態捕獲と個体調査

テレメーターを設置するために箱ワナを10台7箇所を設置し、今年度は1月末の時点で6頭を捕獲し、君津市怒田沢及び富津市豊岡で捕獲をした個体2頭にテレメーターを装着しました。

(捕獲した6頭の個体のそれぞれの概要について、「資料7ページの表-2.1」に沿って説明)

(君津市) 當眞
副主幹 (事)
文化振興係長

(2) 追跡調査

28年度(1月末現在)の追跡対象群は T-II群、石見堂群、フジコ群(仮称)、クミコ群(仮称)、ヌタ群(仮称)、旅名A群、尾崎群(仮称)の7群、テレメーター装着個体は合計11頭となっております。

平成27年度事業でテレメーターを装着した君津市怒田沢の個体「ヌタエ」は、今年度4月よりテレメーターが不動となっており、テレメーターの脱落若しくは個体の死亡により追跡を中断したという状況でございます。

i) T-II群

遊動域は富津市高溝、宇藤原、大川崎、大田和、関地区付近で、平成26・27年度と大きな変化はありませんでした。

個体数は、1月25日の観察時では計10頭をカウントできました。

平成26年度の環境省事業での調査では15～17頭と推測されています。

ii) 石見堂群

遊動域は富津市宇藤原、高溝、田倉、恩田地区付近です。

昨年度、調査開始以来初めて、西側に遊動域が拡大しましたが、今年度も同様の傾向が見られました。また、南側の指定地周辺での遊動が減り、北側での遊動が増えている傾向もあります。

個体数は、6月3日の観察時で最大41頭を確認しました。

平成26年度には88頭をカウントしており、カウント漏れの個体がいると考えられます。

iii) フジコ群(仮称)

調査を継続しているが、テレメーターからの電波発信がない、または電波が弱い状況があり、機会の不具合が考えられています。

そのため、確実に把握できたのは富津市宇藤原地区での3回の遊動で、カウントの機会については得られておりません。

iv) クミコ群(仮称)

今年度に富津市豊岡(志組)で捕獲したクミコを含む群れです。

10月から調査を開始し継続中ですが、遊動域は富津市豊岡付近です。現時点ではカウントの機会はありません。

v) ヌタ群(仮称)

今年度に君津市怒田沢で捕獲したヌタを含む群れです。

遊動域は君津市怒田沢、辻森、旅名地区です。

昨年度捕獲し、テレメーターの脱落若しくは装着個体の死亡により追跡を中断した「ヌタエ」の群れのデータが少ないため、同一の群れかどうかは現時点では不明でございます。カウントの機会については現時点では得られておりません。

vi) 旅名A群

遊動域は君津市旅名地区付近です。

現時点でのカウントの機会はありませんが、平成26年度の環境省事業では38頭をカウントしております。

vii) 尾崎群(仮称)

遊動域は君津市豊英地区、君鴨トンネル付近です。鴨川市域まで遊動していることがわかりました。現時点でのカウントの機会はありません。

(君津市) 眞
副主幹 (事)
文化振興係長

ておりません。

(3) 個体数管理

今年度の有害鳥獣駆除については、例年どおり、君津市農政課及び富津市農林水産課から資料を提供していただいた後に取りまとめる予定でございます。

3. 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査(資料: 10ページ)

(1) 環境改変

3月に実施予定でございます。

(2) 生息環境調査

今年度も例年どおり、富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量の測定を行いました。このデータについては、3月末に取りまとめる予定でございます。

平成28年度事業の途中経過の説明は以上となります。

(富津市) 桐村
文化係長

それでは引き続き平成28年度事業の予算執行状況について御説明いたします。

○予算執行状況について

(資料: 『平成28年度 天然記念物 「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況 平成29年1月31日現在』に沿って説明)

歳入	(収入額)	4,473,000円
内訳	富津市	2,460,000円
	君津市	2,013,000円
歳出	(支出済額)	2,305,942円
内訳	報償費	18,000円
	賃金	1,874,000円
	旅費	132,600円
	需用費	273,917円
	役務費	7,425円

予算執行状況の説明については以上となります。

(調査団) 白鳥	<p>事業報告について補足説明させていただきます。</p> <p>○資料 『平成28年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業途中経過報告書』について補足説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3ページのU26電気柵の管理者は調査団から地元の方へと変わっており、年度の報告書では訂正して掲載する旨報告。) ・(13ページのフジコ群(仮称)の遊動域について目撃地点を最外郭方により繋いだ緑色の枠線については平成27年度のデータを使用していること、平成28年度事業内で目視した地点は赤い点で表した3地点であること、群れを目視出来ている状態にも関わらず電波発信がなかった旨について説明。) ・(14ページのクミコ群(仮称)の遊動域について、千葉県の実業においては、字中倉にある駐在所付近でも確認されている旨説明。) ・(18ページのテレメーター装着群の行動域について、天然記念物指定地域の奥を遊動する群れには中々テレメーターを装着できていないため、今後はできるだけ指定地の中心部で捕獲できるようなやり方を見つけない意向である旨の説明。) ・(4ページの表-1. 2電気柵の点検・補修の記録の宇藤原地区において7月から11月にかけて調査補助員のため一部点検ができなかったことについて、近日、地元で対策を話し合う場を持つ予定である旨について説明。)
小 泉 議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりましたので質疑応答に移ります。</p> <p>何か御質問等ございませんか。</p>
池 田 委 員	<p>18ページのテレメーター装着群の行動域について、天然記念物指定地域の内側については(サルの群れについて)中々把握出来ていない所が多いので、調査という部分にもっと力を入れて欲しいと感じております。</p>
(君津市) 當眞 副主幹(事) 文化振興係長	<p>引き続き把握に努めたいと考えております。</p>
池 田 委 員	<p>交雑が問題になっていますが、本事業においては中々遺伝子分析まではできていない現状であるように感じます。</p>

<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>ご指摘のとおり遺伝子分析まではまわせていない現状です。 ただ、サンプルは保管しておりますので、今後は、関係機関と連携しながら、なんとか対処していきたいと考えております。</p>
<p>池 田 委 員</p>	<p>是非とも予算化してほしいと思います。</p>
<p>小 泉 議 長</p>	<p>他に御質疑等がございますか。他に御質疑もないようですので、議題（１）平成２８年度事業の経過報告及び予算執行状況について、御承認頂けますか。</p>
<p>委 員 一 同</p>	<p>（異議なし）</p>
<p>小 泉 議 長</p>	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、議題（２）に移ります。 議題（２）平成２９年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>平成２９年度の事業計画（案）について御説明いたします。 資料：『平成２９年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業計画書（案）』に沿って説明 （１）被害防止事業 ①既設電気柵の維持管理 ②被害多発期の追い払いによる被害防止 ③被害実態調査 （２）生態調査と個体数管理 ①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数 ②群れの生態に関するデータの取りまとめ ③個体数管理 （３）天然記念物指定地域の生息環境調査 ①生息環境調査</p>
<p>小 泉 議 長</p>	<p>それでは引き続き平成２９年度予算案についてご説明いたします。 ○平成２９年度の事業予算（案）について 資料：『平成２９年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算（案）』に沿って説明。</p>

(富津市)桐村 文化係長	歳入 (委託料) 4,473,000円 内訳 富津市 2,460,000円 君津市 2,013,000円 歳出 (予算額) 4,473,000円 内訳 報償費 123,000円 賃金 2,750,000円 旅費 352,000円 需用費 1,226,000円 役務費 22,000円
小泉議長	<p>平成29年度予算(案)につきましては以上です。</p> <p>説明は終わりました。 ただいまの説明について何か御質問等ございますか。</p> <p>御質疑もないようですので、議題(2)平成29年度事業計画(案)及び予算(案)について、御承認頂けますか。</p>
委員一同	(異議なし)
小泉議長	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、議題(3)その他でございますが、本日、事務局・関係機関よりそれぞれ報告事項がございます。 はじめに、事務局より報告をお願いします。</p>
(君津市)當眞 副主幹(事) 文化振興係長	(第1回目の会議にて、平成29年度文化財関係補助事業の計画を文化庁へ提出する予定について報告したが、事業計画の見直しが指摘され、富津・君津両市で協議をした結果、最終の計画照会に係る提出はせず、平成29年度からの開始は見送ることとした旨について説明。)
小泉議長	事業計画の見直しということで報告がありましたが、この件について何か質問等はございますか。
池田委員	その先はどのように動くのでしょうか。

<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>予算的には、両市の持ち出しだけでは対応が厳しい内容も含まれておりました。今後とも、千葉県の文化財課や自然保護課、文化庁と連携を取りながら、再度練り直していきたいと考えております。</p>
<p>池 田 委 員</p>	<p>具体的に、次年度に行うといったことはあるのでしょうか。</p>
<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>現段階では未定でございます。</p>
<p>小 泉 議 長</p>	<p>続きまして、本日、千葉県教育庁教育振興部文化財課より水野さんが見えておりますので、お話を伺いたく思います。 千葉県文化財課の水野様、お話をお願いします。</p>
<p>県文化財課 水 野 文化財主事</p>	<p>千葉県文化財課としましては、君津・富津両市とともに、天然記念物「高宕山のサル生息地」に係る事業について適切に保護していけるよう、助言等をしているところでございます。 本日の会議の中でもありましたとおり、食害等の被害に係ることやアカゲザルとの交雑問題については、千葉県文化財課としても重大であると認識しているため、今後とも、君津・富津両市や自然保護課、文化庁と連携を取りながら対処していきたいと考えております。</p>
<p>小 泉 議 長</p>	<p>ありがとうございました。 では、同じく、千葉県自然保護課の菊地様、お願いいたします。</p>
<p>県自然保護課 菊 地 班 長</p>	<p>来年度から保護管理計画が新しくなるということで情報提供をさせていただきます。 千葉県では鳥獣行政全般に関する基本計画を5年毎に見直しております。 その基本計画の下に、被害が深刻であるといわれている動物については、獣種別（ニホンジカ・ニホンザル・イノシシ）に計画を策定しております。これを、県の基本計画の見直しに合わせて、来年度から次期計画に入るということで、3月3日までパブリックコメントを実施しております。スケジュールとしては、その後、環境審議会で審議ののち、年度末までに改定の作業を終えたいと考えております。 ニホンザルに関する計画としては、平成29年3月までは第3次計画ということで動いており、4月からは“第4次計画“という形となります。 全体の流れとしては、今まで計画に盛り込んでいたものを踏襲すると</p>

<p>県自然保護課 菊地 班長</p>	<p>いう形となっております。</p> <p>第4次計画に向けて、計画に盛り込んだ内容をどのように実施していくのか、第3次計画中に交雑のモニタリングということで調査をしているので、その結果を載せて、今後の対策についても、分析方法の手法についても計画に盛り込むという形で進めております。</p> <p>盛り込むにあたって、環境省の事業の結果も踏まえて、判定の基準についてもより厳密にしたような形の判定方法に変えていくように改定する予定となっております。</p> <p>目標については、ニホンザルの生息が確認されている地域については、交雑対策をしてニホンザルを守っていこうという部分と被害の軽減を軸に対策をしていこうと考えております。</p> <p>この計画の柱としては、まずは、群れの把握を早急にする必要があると考えております。群れ毎に被害がどの位発生しているのかといったことでランク付けをして群れ毎にどのように管理をしていくのかというところを決めていきたいと考えております。</p> <p>交雑問題については、高宕山地域に限っての話ではなく、全体として、被害対策と交雑対策を併せて行わなければならない全国的に見ても特殊で難しい地域であり、限られた予算をどのように有効に使うかは大切なことであると認識しておりますので、被害対策と交雑対策を絡めて優先順位をつけながら対策をしていこう、ということをご第4次計画に載せております。</p> <p>平成29年度より第4次計画がスタートしたら色々ご相談させていただくこともあろうかと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>小泉 議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのお2人の御説明につきまして御質問等はございますか。</p>
<p>池田 委員</p>	<p>県としては分布調査、生態調査、捕獲或いは有害鳥獣の駆除による捕獲等でサンプルを採る機会があるかと思っておりますが、房総半島のサルの交雑はどのくらい進んでいるのでしょうか。</p>
<p>県自然保護課 菊地 班長</p>	<p>広域の調査となると平成20年度から平成23年度にかけての交雑モニタリング調査が最後となっております。広範囲で交雑の個体が発見されたという結果でございました。その中でも、地域毎に交雑の進行具合に濃淡があるという傾向が見られたという結果でございましたので、まずは、濃いところ、交雑率が高いと言われているところから群れ毎の調査を平成24年度より行っております。</p> <p>勝浦市と鋸南町で調査をしておりますが、同じ市でも、群れ毎に交雑の傾向に違いがあるということがありますので、今後は、まだ調査していない群れについて調査する方向で考えております。</p>

小 泉 議 長	<p>ほかに何かご質問等はございますか。</p> <p>ないようですので、その他ということで、委員の方で何かございますでしょうか。</p>
嶋 野 委 員	<p>保護管理計画ということで、過去に設置した電気柵について、耐用年数を超過し痛みだしているものが多分にあると考えております。そのような中で、私の地元である宇藤原は被害の中心地域であると認識していますが、電気柵の補修について、予算の関係もあるとは思いますが、もう少し予算組みをしていただければ被害も減るのではないかと考えております。</p> <p>また、被害の実情について、地元の方の声が中々伝わっていないという実情があるのではないかなと考えております。</p> <p>天然記念物ということで（サルを）保護していくのであれば、地元を意識した対策についても実施していただければと考えております。</p>
(調査団)直井	<p>宇藤原はそもそも本事業が始まった時において、被害の中心的な場所でありました。宇藤原及び高溝の一部が“準指定地域”ということで文化財の被害対策の対象地域とされてきた経緯がございます。</p> <p>事業が始まってから30年が経過しておりますが、この間、宇藤原の電気柵についてはできるだけ集落全体を囲うような形で設置し、その管理については調査団を中心に本事業の予算で行うという方法で行ってまいりました。</p> <p>(事業が始まってから30年が経過していることもあり、)当初と状況が変わってきている部分がございます。</p> <p>当時は、宇藤原を中心に動いていたT-I群の遊動域が大きく動き天然記念物の指定地域からは外れていったにも関わらず対象としてはT-I群をターゲットに事業を実施していたために、宇藤原における追い払い等の被害対策が手薄となってしまった経緯があるのではないかと考えております。</p> <p>電気柵に関しても、耕作地の状況は変化しているにも関わらず、当初の計画のとおり集落全体を囲うということで動いておりましたが、中々完成に至らない、また、メンテナンスに不具合がでてきているということを考慮しますと、宇藤原の電気柵をどのようにするのかは地元の方を含めて話し合っていかなければならない状況であると考えております。</p> <p>来年度に向けて、事業の経緯や電気柵の管理等について、地元からご意見等を伺う機会を設ける必要があると考えておりますが、調査団だけでは不十分な部分もあろうかと思っておりますので、市の教育委員会には適宜サポートをお願い出来ればと考えております。</p>
小 泉 議 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ほかに委員さんで何かございますか。</p>

小 泉 議 長	<p>ないようですので、議事終了といたしまして、議長の職を解かせていただきます。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>
(富津市)山口 生涯学習課長	<p>それでは、以上をもちまして、平成28年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会 会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたる審議ありがとうございました。</p>